

個人山行 南木曾岳

2017年9月9日(土) 岡本(単独)

今日から北アルプスへ行く予定であったが、天気が続かないので中央アルプス南部の端っこの南木曾岳と、その後、例会の伊吹北尾根へ行くことにした。

朝2時40分出発する。が、東名阪道で事故に巻き込まれ大幅に時間ロス、登山口のある避難小屋到着は午前7時頃。既に車が8台、そこそこの登山客がいるようだ。

登山届を出し7時20分出発。登山口から暫く気分の良い遊歩道のような道だが直ぐに林道に合流。砂防ダムが見えてきたところで林道から離れ山道となる。快晴のはずがどんよりした曇り空で、何となく嫌な気分。15分程歩いたところで登り道と下り道の分岐点に着く。直ぐに「金時の洞窟」があるが、巨大な岩が落ちてきて隙間が出来たような洞窟で、特段の印象もない。更に30分程歩



(登山口付近の散策道)



(登り、下り道分岐点)



(ここからが急な登り)

くと緩やかな階段道が見えてくる。ここから急な登りで、山頂まで、一気に標高差400m弱の滑りやすい木の階段と木の根が続く。ここで3組追い抜いて山頂に着く。山頂は樹林に囲まれ景色は何も見えない。

山頂から少し行くと見晴台がある。木曾谷と向かいに御岳が見えるはずだが、生憎の曇りで木曾谷しか見えない。更に少し行くと避難小屋があり、横に真新しいトイレがあり、何となく使い勝手の



(南木曾岳山頂)



(避難小屋と左トイレ)

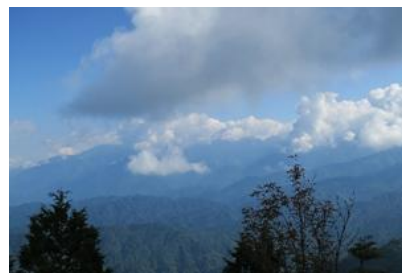
の良さそうな小屋だ。その上に展望所があり、ここから北東方向に木曾駒ヶ岳から摺古木岳まで、中央アルプスが一望でき、更に北西から北方向には、御岳、乗鞍、穂高、双六、水晶、大天井、常念までの大パノラマが楽しめることになっている。しかし、今年の天気予報は本当に当てにならない。雲一つ無い快晴予報だったが写真の通りである。少し休んでから、摩利支天を覗き込み、その後は木の根とハシゴと鎖の急な下りを一気に下る。結局、前の組をごぼう抜きにして、コースタイム約5時間を3時間程度で歩き、何となくトレーニングのような山行でした。



(雄大な御岳が見えるはず)



(乗鞍、穂高が一望のはず)



(中央アルプス一望のはず)

行程： 7:20 登山口→7:50 上下道分岐→8:50 山頂→9:05 避難小屋(休)→10:05 上下道分岐→10:25 登山口